国土交通省 関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

令和４年１月２８日（金）
国土交通省関東地方整備局
横浜港湾空港技術調査事務所

記者発表資料

第11回 横浜技調技術交流会の開催について

関東地方整備局横浜港湾空港技術調査事務所では、港湾空港分野の技術力をより高める取り組みとして、外部の方々から様々な新しい技術を５件発表いただき、参加者との意見交換を行う技術交流会を開催します。

記

１．日　時
令和４年２月１６日（水）　１４時００分～１６時５５分

２．開催方法
オンライン形式：Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ Ｔｅａｍｓ
参加者へは、２月１４日（月）までに参加方法をお知らせします。

３．プログラム及び発表テーマ
別添のとおり

４．参加申し込み
技術交流会の参加には事前に申し込みが必要です。
２月３日（木）までに「別紙」申込用紙に記載の上、メールにて送付してください。
なお、WEB 会議の都合上、アクセス数に限りがありますので、参加者は先着順（１００名）とさせていただきます。

※１ 今回の技術交流会における土木学会継続（ＣＰＤ）プログラムの単位付与はございません。
※２ 取材を希望される場合は、２月１４日（月）１７時までに事務局までご連絡ください。
※３ 新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、ＷＥＢ上での参加のみとさせていただきます。

発表記者クラブ
竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・その他専門誌

問い合わせ先
関東地方整備局横浜港湾空港技術調査事務所 調査課長　渡部昌治（わたなべまさはる） 電話　045 - 461 - 3893 メール　info-y83ab@mlit.go.jp

別　紙

第 11 回 横浜技調技術交流会 参加および取材申込書

開催日時：令和４年２月１６日（水）１４時００分～１６時５５分
開催方法：オンライン形式（Ｍｉｃｒｏｓｏｆｔ　Ｔｅａｍｓ）
　　参加者へは、２月１４日（月）までに参加方法をお知らせします。

申込書：技術交流会の参加および取材申込について、以下表の事項に入力いただき、事務局までメールにて申し込みください。
なお、技術交流会の参加と取材申込では、締め切り日が異なります。
・技術交流会の参加：２月３日（木）まで
・取材申込：２月１４日（月）１７時まで

▼本申込書で５名まで申し込みいただけます。

氏　　名	所　　属 連絡先（ﾒｰﾙ／電話）	技術交流会に参加	取材申込
例）関東　太朗	横浜技調〇〇課 〇〇@mlit.go.jp ／ 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	〇	
例）関東　花子	報道機関名（所属記者クラブ） 〇〇@ mlit.go.jp ／ 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇		〇

＊参加申込書の個人情報は、交流会当日の資料準備、連絡のみの利用とし、事務局が適正に管理いたします。
＊参加者多数で定員（先着１００名）を大きく上回った場合は、こちらよりご連絡させていただきます。

申込先：右記メールアドレスまで送付ください。info-y83ab@mlit.go.jp
事務局：横浜港湾空港技術調査事務所　調査課
　　担当）渡部、竹高、藤原　　電話）０４５－４６１－３８９３

第11回 横浜技調技術交流会プログラム

日時　　令和4年2月16日（水）　14:00～16:55
場所　　オンライン形式（Microsoft Teams）

プログラム

No.	時間			テーマ	発表者
	14:00	-	14:10	開会挨拶	横浜港湾空港技術調査事務所　所長
1	14:10	-	14:40	ハイブリッド防潮堤 （NETIS登録番号：KTK-160017-A）	ＪＦＥエンジニアリング株式会社
2	14:40	-	15:10	CO2-SUICOM（シーオーツースイコム） （NETIS登録番号：CG-160001-A／CG-210004-A）	鹿島建設株式会社
	15:10	-	15:20	**休憩　（10分間）**	
3	15:20	-	15:50	超硬質地盤に適応した大径・低変位の深層混合処理工法 （NETIS登録番号：QS-200009-A）	株式会社不動テトラ
4	15:50	-	16:20	スラリー撹拌工法における 「位置誘導及び造成杭可視化システム」	あおみ建設株式会社
5	16:20	-	16:50	波浪観測機能を搭載した超音波式多層流向流速計（NORTEK：SIGNATURE）の波浪観測への適用可能性における、多機能型海象観測装置（DL-3）、波高・波向・流速計（WAVE-HUNTER）との比較試験による実用性の検証	三洋テクノマリン株式会社
	16:50	-	16:55	閉会挨拶	横浜港湾空港技術調査事務所　副所長

第11回 横浜技調技術交流会発表テーマ一覧

番号	テーマ	概　要	発表者
1	ハイブリッド防潮堤 （NETIS登録番号：KTK-160017-A）	本工法は、防潮堤に鋼とコンクリートを一体化させたハイブリッド構造のプレキャスト部材（底版・防波版）と基礎杭から構成され、大幅に工程短縮が可能な工法である。 現地資材の需給動向に対する影響の大幅軽減、プレキャスト部材の小型化・軽量化による狭隘部での施工性向上といった特長も挙げられる。 今後地球温暖化による海面上昇への対応として、既設防潮堤の嵩上げニーズへの対応や壁高や狭隘な場所への設置といった、さまざまなニーズに対応した商品のラインアップを図っている。	ＪＦＥエンジニアリング株式会社
2	CO2-SUICOM（シーオーツースイコム） （NETIS登録番号：CG-160001-A／CG-210004-A）	CO2-SUICOMは、コンクリートにCO2を吸収させて固定化するCO2吸収型コンクリート技術であり、コンクリートの使用材料に起因するCO2排出量を相殺する以上のCO2をコンクリートに固定することができる「カーボンネガティブ」を実現したコンクリートです。CO2-SUICOMを1m3製造するごとに、他の人為的生産活動で排出されたCO2を18kgずつ安定的に閉じ込めることができます。 本発表では、CO2-SUICOMの開発の経緯、技術の概要と使用実績、今後の展開について説明します。	鹿島建設株式会社　技術研究所
3	超硬質地盤に適応した大径・低変位の深層混合処理工法 （NETIS登録番号：QS-200009-A）	近年、巨大化する災害の外力への対応等により、中間の硬質地盤を貫通してその下部の軟弱地盤を改良するケースや，より堅固な支持地盤まで着実に根入れを行うケース，更には硬質地盤そのものの改良が必要となるケースが増加している。このようなニーズに対応するために，新たに高トルクインバータモータ及び先端吐出機構による硬質地盤対応型の深層混合処理工法であるCI-CMC-HG 工法（QS-200009-A）を開発・実用化したので、その概要と適用事例を報告する。	株式会社不動テトラ
4	スラリー撹拌工法における 「位置誘導及び造成杭可視化システム」	スラリー撹拌工法施工時において、事前登録した設計施工情報データーを基に、造成する改良体まで施工機械の誘導を行うとともに、GNSSによる位置管理と施工状況をリアルタイムに外部端末へ送信し、外部端末で施工状況を確認できる。そのことにより、ヒューマンエラーの防止と地中部の出来形管理と品質管理が２Dおよび３Dによる可視化により確認できる。	あおみ建設株式会社
5	波浪観測機能を搭載した超音波式多層流向流速計（NORTEK：SIGNATURE）の波浪観測への適用可能性における、多機能型海象観測装置（DL-3）、波高・波向・流速計（WAVE-HUNTER）との比較試験による実用性の検証	SIGNATUREは、従来の主力機器である多機能型海象観測装置による波浪観測結果と良く整合しており、従来型の波浪観測結果と同等以上の成果が期待できる結果となった。SIGNATUREでは流向・流速データが多層で観測可能、オプションにより長期連続観測が可能などのメリットがある一方で、観測設定やデータ回収にPCが必要、海底付近の流向、流速データの取得には工夫が必要などのデメリットも明らかになった。	三洋テクノマリン株式会社